

令和 7 年度 多機能型事業所 安全計画

安全計画【施設名称（事業種別）】

社会医療法人社団三思会 多機能型事業所にじいろ（児童発達支援、放課後等ディサービス、生活介護、居宅訪問型児童発達支援

1. 安全点検

（１）施設・設備・事業所外環境（散歩コースや緊急避難先等）の安全点検

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
重点点検箇所	事業所内設備 備品点検 車両点検 施設周囲環境の安全 確認	事業所内設備 備品点検 車両点検	事業所内設備 備品点検 車両点検 冷暖房器具点検	事業所内設備 備品点検 車両点検 施設周囲環境の安全 確認	事業所内設備 備品点検 車両点検 防災設備点検	事業所内設備 備品点検 車両点検 施設外活動場所の 下見、安全確認
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
重点点検箇所	事業所内設備 備品点検 車両点検 冷暖房器具点検	事業所内設備 備品点検 車両点検	事業所内設備 備品点検 車両点検 施設周囲環境の安全 確認	事業所内設備 備品点検 車両点検	事業所内設備 備品点検 車両点検 防災設備点検	事業所内設備 備品点検 車両点検 施設外活動場所の 下見、安全確認

※消防設備点検はマザーホーム戸室（施設）計画による。

(2) 施設外周囲の安全点検

施設・設備	施設外環境	注意点
事業所南側ベランダ	避難経路、日向ぼっこ	移動経路の安全確認、路面の確認
事業所西側	エアコン室外機等、クッション日干し場所	設備や建物の状態確認
車両駐車場所	散歩	移動経路の安全確認、路面や遊具の確認
施設北側駐車場	避難場所、散歩	移動経路の安全確認、路面の確認

(3) 園外の施設・設備（散歩コースや緊急避難先等）における利用時の注意点

施設名	環境・設備	移動手段	注意点
戸室児童館	散歩コース、遊具の使用	240m 徒歩 5 分	移動経路の安全確認、路面や遊具の確認
戸室清水公園	散歩コース、遊具の使用	350m 徒歩 7 分	移動経路の安全確認、路面や遊具の確認
吾妻町児童遊園	散歩コース、遊具の使用	600m 徒歩 15 分	移動経路の安全確認、路面や遊具の確認
小鮎川沿い桜並木	散歩コース	650m 徒歩 20 分	移動経路の安全確認、路面の確認

(4) マニュアルの策定・共有

分野	策定期期	見直し（再点検）予定時期	掲示・管理場所
自然災害発生時における業務継続計画（BCP）	令和 6 年 4 月	随時	マザーホーム戸室共通
感染症発生時における業務継続計画（BCP）	令和 6 年 4 月	随時	マザーホーム戸室共通
虐待防止、身体拘束の適正化等マニュアル	令和 6 年 4 月	随時	マザーホーム戸室共通
運営規定	令和 6 年 4 月	随時	管理：事務室
医療的ケア指示書マニュアル	令和 6 年 4 月	随時	管理：事務室
感染対策マニュアル	令和 6 年 4 月	随時	管理：事務室
安全計画（事故防止）	令和 6 年 4 月	随時	管理：事務室
入浴マニュアル	令和 6 年 4 月	随時	管理：事務室
車内安全点検マニュアル	令和 6 年 4 月	随時	管理：事務室
業務マニュアル	令和 6 年 4 月	随時	管理：事務室

2. 児童・保護者に対する安全指導等

(1) 児童への安全指導（事業所の生活における安全、災害や事故発生時の対応、交通安全等）

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
児童発達支援 放課後等デイ 生活介護		避難訓練で災害に対する認識を を深め、落ち着いて速やかに避難 行動できるようにする。		避難訓練で災害に対する認識を を深め、落ち着いて速やかに避難 行動できるようにする。

(2) 保護者への説明・共有

通年
○ 安全計画及び安全に関する取り組みについて、広報誌及びホームページに掲載し、周知を図る。 ○ 災害時の対応、連絡方法に関する周知を図る。 ○ 個別支援計画の説明において、理解を図る。 ○ 利用開始時の説明等で取組内容の周知を図る。

3. 訓練・研修

(1) 訓練のテーマ・取組

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
避難 訓練等		避難訓練 (内容) 施設計画による		避難訓練 (内容) 施設計画による
その他				
通年	○ 火災消火訓練は、施設計画による。 ○ 救急対応（心肺蘇生法・AED 使用方法等）は、施設計画による。 ○ 緊急連絡網訓練は、法人計画による。			

(2) 訓練の参加予定者（全員参加を除く。）

訓練内容	参加予定者
避難訓練	職員・利用者
消火訓練・AED 訓練	職員
不審者（外部侵入者）対応	児童発達支援管理責任者、各担当
車両運行・送迎バスにおける安全管理研修	新入職

(3) 職員への研修・講習（園内実施・外部実施を明記）

4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
○情報管理研修（法人）	○腰痛予防研修		○虐待防止、身体拘束適正化研修 ○安全計画の見直し
※知識、技術、接遇等の研修は、適宜参加していく。参加予定等はメモしていく			

(4) 行政等が実施する訓練・講習スケジュール ※所属する自治体・関係団体等が実施する各種訓練・講習スケジュールについて参加目途にかかわらずメモする

○感染症や災害対策等、意思決定支援等の研修については適宜参加していく。

◎再発防止策の徹底（ヒヤリ・ハット事例の収集・分析及び対策とその共有の方法等）

○施設内でヒヤリハット事例の共有。事業所内にて、事故報告書作成、事業所内会議にて対策等を検討、共有する。

◎その他の安全確保に向けた取組（地域住民や地域の関係者と連携した取組、登降園管理システムを活用した安全管理等）

○災害時の利用者へ電話、メール、システムを使った安否確認